



設定のばらつき

- [構成のばらつき通知と障害 \(1 ページ\)](#)
- [構成ドリフトのメインページにアクセスする \(2 ページ\)](#)
- [欠落しているコントラクト構成の確認 \(5 ページ\)](#)
- [欠落している EPG 構成の確認 \(7 ページ\)](#)
- [欠落している VRF 構成の確認 \(9 ページ\)](#)
- [構成のばらつきのトラブルシューティング \(11 ページ\)](#)

構成のばらつき通知と障害

パブリッククラウドに Cisco ACI を展開する場合、Cloud Network Controller からほとんどのファブリック構成を実行します。ただし、お客様または別のクラウド管理者が、AWS または Azure が提供するツールを使用して、クラウドプロバイダーの GUI で展開された構成を直接変更する場合があります。このような場合、Cloud Network Controller から展開した意図した構成とクラウドサイトの実際の構成が同期しなくなる可能性があります。これを構成のばらつきと呼びます。

Cloud Network Controller は、Cloud Network Controller から展開したものとクラウドサイトで実際に構成されたものとの間のセキュリティポリシー（コントラクト）構成の不一致を可視化します。構成のばらつきの表示はデフォルトで有効になっており、構成のばらつき情報は、EPG、VRF、およびレイヤ4からレイヤ7のサービスグラフがアタッチされているかどうかに関係なく使用できます。

構成のばらつき情報は、[クラウドリソース (Cloud Resources)] >> [ドリフト (Drifts)] で表示される 1 つのページに統合されました。

The screenshot shows the Azure Drifts interface. On the left is a navigation menu with 'Drifts' selected. The main content area is titled 'Drifts' and includes a 'Detection Summary' section with the following data:

Unmanaged Objects	Objects with Drifts	Last Drift Check
32	0	Jul 08 2022 08:37:26am -07:00

Below the summary is a table of objects:

Object	Status	Drift Type	Last Configuration Update
/subscriptions/630daf13-e0e6-40bf-b87e-17844309af73/resourceGroups/CAPIC_int_vr f1_eastus/providers/Microsoft.Network/netwo rkSecurityGroups/ALB2-subnet/securityRules/AzureInfraBackendHealthPorts	Unmanaged	Extra Object	Jul 08 2022 01:43:56am -07:00
/subscriptions/630daf13-e0e6-40bf-b87e-17844309af73/resourceGroups/CAPIC_int_vr f1_eastus/providers/Microsoft.Network/netwo rkSecurityGroups/ALB2-subnet/securityRules/AzureLoadBalancer	Unmanaged	Extra Object	Jul 08 2022 01:32:32am -07:00
/subscriptions/630daf13-e0e6-40bf-b87e-17844309af73/resourceGroups/CAPIC_int_vr f1_eastus/providers/Microsoft.Network/netwo rkSecurityGroups/vrf1-east-VM1-nsg/securityRules/SSH	Unmanaged	Extra Object	Jul 08 2022 01:32:32am -07:00

詳細については、「[構成ドリフトのメインページにアクセスする \(2 ページ\)](#)」を参照してください。

構成のばらつきの分析には2つの側面があります。

- Cloud Network Controller で構成され、クラウドファブリックに展開される予定のすべてのファブリック要素が適切に展開されましたか?

このシナリオは、クラウドに展開できなかった Cloud Network Controller のユーザー構成エラー、クラウドプロバイダー側の接続または API の問題、またはクラウド管理者がクラウドプロバイダーの UI で直接セキュリティルールを手動で削除または変更した場合に発生する可能性があります。意図されていても欠落している構成は、Cloud Network Controller ファブリックに問題を引き起こす可能性があります。

- クラウドに存在するが、Cloud Network Controller から展開することを意図していない追加の構成はありますか?

前のシナリオと同様に、これは、接続または API の問題がある場合、またはクラウド管理者がクラウドプロバイダーの UI で直接追加のセキュリティルールを手動で作成した場合に発生する可能性があります。既存の、意図されていない構成では、問題が発生する可能性があります。

構成ドリフトのメインページにアクセスする

構成ドリフト情報が単一の [ドリフト (Drifts)] ページに統合されています。

[ドリフト (Drifts)] ページは、次の情報を提供するために使用されます。

- 何かが削除されたかどうかを確認するには
- 存在する必要があるものが正しく表示されていることを確認するには

ステップ 1 Cisco Cloud Network Controller GUI にログインします。

ステップ 2 次の順に構成ドリフトのメインページに移動します。

[クラウドリソース (Cloud Resources)] > [ドリフト (Drifts)]

統合された [ドリフト (Drifts)] ページが表示されます。

Object	Status	Drift Type	Last Configuration Update
/subscriptions/630daf13-e0e6-40bf-b07e-17844309af73/resourceGroups/CAPIC_int_vr1_eastus/providers/Microsoft.Network/networkSecurityGroups/ALB2-subnet/securityRules/AzureInfraBackendHealthPorts	Unmanaged	Extra Object	Jul 08 2022 01:43:56am -07:00
/subscriptions/630daf13-e0e6-40bf-b07e-17844309af73/resourceGroups/CAPIC_int_vr1_eastus/providers/Microsoft.Network/networkSecurityGroups/ALB2-subnet/securityRules/AzureLoadBalancer	Unmanaged	Extra Object	Jul 08 2022 01:43:56am -07:00
/subscriptions/630daf13-e0e6-40bf-b07e-17844309af73/resourceGroups/CAPIC_int_vr1_eastus/providers/Microsoft.Network/networkSecurityGroups/vr1-east-VM1-nsg/securityRules/SSH	Unmanaged	Extra Object	Jul 08 2022 01:32:32am -07:00
/subscriptions/630daf13-e0e6-40bf-b07e-17844309af73/resourceGroups/CAPIC_int_vr1_eastus/providers/Microsoft.Network/networkSecurityGroups/ALB2-subnet/securityRules/SSH	Unmanaged	Extra Object	Jul 08 2022 01:32:32am -07:00

[ドリフト (Drifts)] ページでは、ファブリック内の構成の問題の概要を確認できます。

[検出の概要 (Detection Summary)] のエリアには、管理対象または管理対象外のオブジェクトとして検出された構成ドリフトの数、およびこの情報が最後に更新された時刻の概要が表示されます。在庫更新のタイムスタンプが古い場合は、この画面の右上隅にある [更新] アイコンをクリックして情報を更新できます。

ステップ 3 [検出の概要 (Detection Summary)] エリア下の表の情報を使用して、構成のドリフトを見つけます。

- **オブジェクト**：構成ドリフトに関連するオブジェクトに関する情報を提供します。
- **ステータス**：[ステータス (Status)] 列に表示される可能性のあるさまざまな値を次に示します。
 - **Transient (低)**：最近の構成変更が原因である可能性が高いドリフト。ファブリックが安定するまで待つことをお勧めします。ばらつきは、次の構成の更新後に自然に解決する可能性があります。
 - **Presumed (中)**：一時的である場合とそうでない場合があるドリフト。状態を監視し、ばらつきが続く場合は構成のトラブルシューティングを行うことをお勧めします。
 - **Raised (高)**：クリティカルなドリフト。Cloud Network controller の構成を確認し、関連する障害を確認することをお勧めします。構成を再展開すると、Cloud Network Controller とクラウドサービス間の通信の問題を解決できる場合があります。問題が解決しない場合は、テクニカルサポートログを確認してください。
 - **Unmanaged**：Cisco Cloud Network Controller を介して作成されていない追加のインベントリ オブジェクトに関連する構成のドリフト。

- **ドリフトタイプ**：以下は、[ドリフトタイプ (Drift Type)] 列に表示される可能性のあるさまざまな値です。
 - **Configuration**：意図した構成と実際の構成が同期しなくなる可能性がある、クラウドプロバイダー サイトの外部変更。EPG または VRF に関連する構成ドリフトに使用されます。
 - **Rule**：意図したセキュリティルールと、コントラクトを通じて確立された予期されるルールとが同期しなくなる可能性のある、クラウドプロバイダーサイトの外部変更。コントラクトに関連する構成ドリフトに使用されます。
 - **Extra Object**：Cisco Cloud Network Controller を介して作成されなかった追加のインベントリ オブジェクトを表示するために使用されます。Cisco Cloud Network Controller は、これらのオブジェクトでドリフト検出を実行しません。
- **Last Configuration Update**：最後に構成が更新された日時に関する情報を提供します。

ステップ 4 必要に応じて、フィルタ行に情報を入力して、表に示されている構成ドリフトをフィルタリングします。

- a) **[検出の概要 (Detection Summary)]** エリアの下にあるフィルタ行をクリックします。次のフィルタタイプが表示されます。
 - オブジェクト
 - ステータス (Status)
 - Drift Type
 - Last Configuration Update
 - 親パス

フィルタに適したタイプを選択します。

- b) 必要な演算子をクリックします。

次のオプションがあります。

 - ==：等号演算子
 - !=：不等号演算子

- c) 必要なドリフトタイプをクリックします。

オプションは、Extra Object、Rule、および Configuration です。詳細については、上記の **ドリフトタイプ** フィールドの説明を参照してください。

テーブルのエントリは、上記の選択に基づいてフィルタリングされます。

ステップ 5 必要に応じて、特定の構成ドリフトに関する追加情報を表示します。

このページにリストされているオブジェクトについては、**[構成ドリフト (Configuration Drifts)]** テーブルの該当する行をクリックして、追加の構成ドリフト情報を表示できます。サイドパネルにこの特定の構成ドリフトに関する情報がさらに表示されます。[詳細 (Details)] アイコン (🔍) をクリックすると、こ

の特定のオブジェクト向けの適切な [クラウド マッピング (Cloud Mapping)] ページが自動で表示されません。

特定のオブジェクトに関する追加の構成ドリフト情報については、次のセクションを参照してください。

- [欠落しているコントラクト構成の確認 \(5 ページ\)](#)
- [欠落している EPG 構成の確認 \(7 ページ\)](#)
- [欠落している VRF 構成の確認 \(9 ページ\)](#)

欠落しているコントラクト構成の確認

このセクションでは、Cisco Cloud Network Controller から構成したが、クラウド ファブリックに適切に展開されていない契約設定を確認する方法について説明します。

ステップ 1 Cloud Network Controller GUI にログインします。

ステップ 2 [アプリケーション管理 (Application Management)] >> [コントラクト (Contracts)] をクリックします。

ステップ 3 適切なコントラクトをダブルクリックして、そのコントラクトの [概要 (Overview)] ページを表示します。

ステップ 4 該当する場合は、[サービス グラフ (Service Graph)] エリアに表示されるサービス グラフ情報に注意してください。

レイヤ 4～レイヤ 7 のサービス グラフが添付されているかどうかに関わらず、コントラクト ドリフト情報が使用可能になりました。詳細については、「[レイヤ 4 から レイヤ 7 サービスの展開](#)」を参照してください。

ステップ 5 [クラウド マッピング (Cloud Mapping)] タブをクリックします。

クラウド マッピング ビューには、コントラクトとそれが使用するクラウド リソースに関するすべての情報が表示されます。

(注) [クラウドリソース (Cloud Resources)] > > [ドリフト (Drifts)] の順にクリックしてこのページに移動することも可能で、その後 [構成ドリフト (Configuration Drifts)] の表で適切な行をクリックします。サイドパネルにこの特定の構成ドリフトに関する情報がさらに表示されます。[詳細 (Details)] アイコン (🔍) をクリックすると、この特定のオブジェクト向けの適切な [クラウドマッピング (Cloud Mapping)] ページが自動で表示されます。詳細については、「[構成ドリフトのメインページにアクセスする \(2 ページ\)](#)」を参照してください。

画面は、[検出の概要 (Detection Summary)]、[関連オブジェクト (Related Objects)]、[構成ドリフト (Configuration Drifts)] および [提示されたクラウドリソース (Presented Cloud Resources)] の4つのセクションに分かれています。各セクションには、選択したコントラクトに関するそれぞれの情報をリストした表が含まれています。

- [検出の概要 (Detection Summary)] の表には、検出された構成ドリフトの数、構成された意図された実際のクラウドリソースの数、およびこの情報が最後に更新された時刻の概要が表示されます。在庫更新のタイムスタンプが古い場合は、この画面の右上隅にある [更新] アイコンをクリックして情報を更新できます。
- [関連オブジェクト (Related Objects)] エリアには、コントラクトに関連するその他のオブジェクト (コンシューマーやプロバイダーの EPG、フィルタなど) が表示されます。
- 構成のばらつきテーブルには、コントラクトルールに関するすべての問題が一覧表示されます。具体的には、展開することを意図していたが、実際のファブリック構成に欠落しているすべてのコントラクトルール。

この表には、使用されるプロトコル、ポート範囲、送信元と宛先の IP またはグループ、コンシューマーとプロバイダーの EPG、問題の説明、問題を解決するための推奨アクションなどの詳細情報が含まれています。構成ののばらつきごとに、[ステータス] フィールドに重大度と推奨されるアクションが示されます。

- **Transient (低)** : 最近の構成変更が原因である可能性が高いドリフト。ファブリックが安定するまで待つことをお勧めします。ばらつきは、次の構成の更新後に自然に解決する可能性があります。

- **Presumed (中)** : 一時的である場合とそうでない場合があるドリフト。状態を監視し、ばらつきが続く場合は構成のトラブルシューティングを行うことをお勧めします。
 - **Raised (高)** : クリティカルなドリフト。**Cloud Network controller** の構成を確認し、関連する障害を確認することをお勧めします。構成を再展開すると、**Cloud Network Controller** とクラウドサービス間の通信の問題を解決できる場合があります。問題が解決しない場合は、テクニカルサポートログを確認してください。
- **[提示されたクラウドリソース (Presented Cloud Resources)]** の表には、クラウドで適切に構成されたすべてのリソースに関する情報が表示されます。この表は、特定のコントラクトのためにクラウドで構成されているルールをよりよく把握できるように設計されています。

欠落している EPG 構成の確認

このセクションでは、Cloud Network Controller から構成したが、クラウドファブリックに適切に展開されていない EPG 設定を確認する方法について説明します。

ステップ 1 Cloud Network Controller GUI にログインします。

ステップ 2 [アプリケーション管理 (Application Management)] > [EPG] をクリックします。

ステップ 3 適切な EPG をダブルクリックして、その EPG の [概要 (Overview)] ページを表示します。

ステップ 4 [クラウドマッピング (Cloud Mapping)] タブをクリックします。

[クラウドマッピング (Cloud Mapping)] ビューには、EPG とそれが使用するクラウドリソースに関するすべての情報が表示されます。

The screenshot shows the Cloud Mapping tab for EPG vrf1-epg1. It includes a detection summary table, related objects, and a configuration drifts table.

Configuration Drift Status	Configured Cloud Resources	Expected Cloud Resources	Last Drift Check
0 Drifts Found	2	2	Jul 08 2022 08:46:00am -07:00

Application Security Group	Network Security Groups	Provider Contracts	Consumer Contracts
2	2	2	0

Status	Logical DN	Cloud Provider ID	Drift Type	Description	Recommendation
No rows found					

Page 1 of 1 | 0-0 of 0

- (注) [クラウドリソース (Cloud Resources)] >> [ドリフト (Drifts)] の順にクリックしてこのページに移動することも可能で、その後 [構成ドリフト (Configuration Drifts)] の表で適切な行をクリックします。サイドパネルにこの特定の構成ドリフトに関する情報がさらに表示されます。[詳細 (Details)] アイコン (🔍) をクリックすると、この特定のオブジェクト向けの適切な [クラウド マッピング (Cloud Mapping)] ページが自動で表示されます。詳細については、「[構成ドリフトのメインページにアクセスする \(2 ページ\)](#)」を参照してください。

画面は、[検出の概要 (Detection Summary)]、[関連オブジェクト (Related Objects)]、[構成ドリフト (Configuration Drifts)] および [提示されたクラウドリソース (Presented Cloud Resources)] の4つのセクションに分かれています。各セクションには、選択した EPG に関するそれぞれの情報をリストした表が含まれています。

- [検出の概要 (Detection Summary)] の表には、検出された構成ドリフトの数、構成された意図された実際のクラウドリソースの数、およびこの情報が最後に更新された時刻の概要が表示されます。在庫更新のタイムスタンプが古い場合は、この画面の右上隅にある [更新] アイコンをクリックして情報を更新できます。
- [関連オブジェクト (Related Objects)] エリアには、セキュリティグループ、コントラクトなど、EPG に関連するその他のオブジェクトが表示されます。
- [構成ドリフト (Configuration Drifts)] テーブルには、EPG に関連付けられたセキュリティグループに関するすべての問題が一覧表示されます。具体的には、展開することを意図していたが、実際のファブリック構成に欠落しているすべてのセキュリティグループ。

この表には、論理 DN、クラウドプロバイダー ID、ドリフトタイプ、問題の説明、問題を解決するための推奨アクションなどの詳細情報が含まれています。構成ののばらつきごとに、[ステータス] フィールドに重大度と推奨されるアクションが示されます。

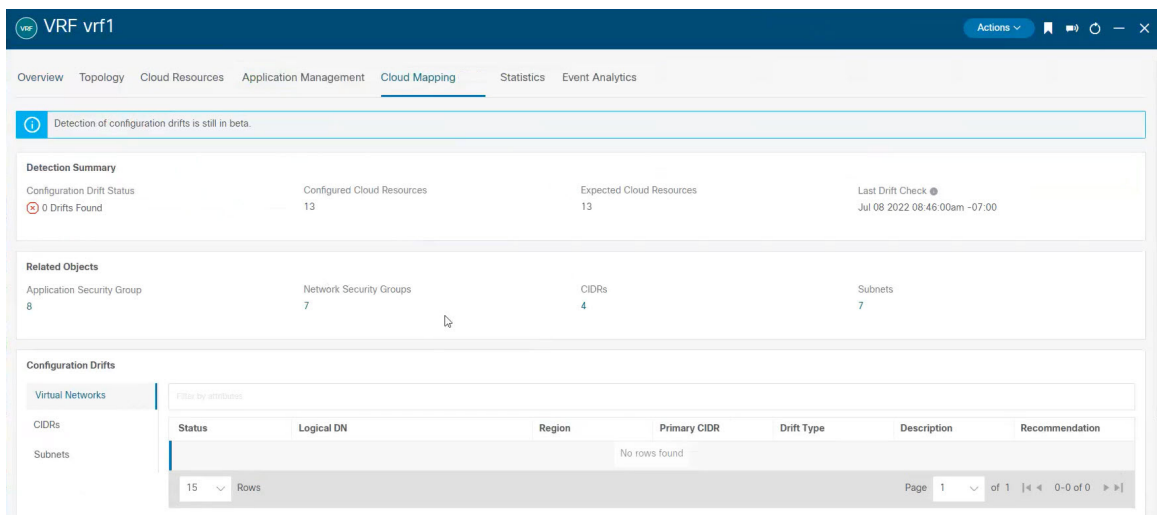
- **Transient (低)** : 最近の構成変更が原因である可能性が高いドリフト。ファブリックが安定するまで待つことをお勧めします。ばらつきは、次の構成の更新後に自然に解決する可能性があります。
 - **Presumed (中)** : 一時的である場合とそうでない場合があるドリフト。状態を監視し、ばらつきが続く場合は構成のトラブルシューティングを行うことをお勧めします。
 - **Raised (高)** : クリティカルなドリフト。Cloud Network controller の構成を確認し、関連する障害を確認することをお勧めします。構成を再展開すると、Cloud Network Controller とクラウドサービス間の通信の問題を解決できる場合があります。問題が解決しない場合は、テクニカルサポートログを確認してください。
- [提示されたクラウドリソース (Presented Cloud Resources)] の表には、クラウドで適切に構成されたすべてのリソースに関する情報が表示されます。このテーブルは、クラウド内の特定の EPG に関連付けられているセキュリティグループをより適切に可視化できるように設計されています。

欠落している VRF 構成の確認

このセクションでは、Cloud Network Controller から構成したが、クラウドファブリックに適切に展開されていない VRF 設定を確認する方法について説明します。

- ステップ 1 Cloud Network Controller GUI にログインします。
- ステップ 2 [アプリケーション管理 (Application Management)] >> [VRF] をクリックします。
- ステップ 3 適切な VRF をダブルクリックして、その VRF の [概要 (Overview)] ページを表示します。
- ステップ 4 [クラウド マッピング (Cloud Mapping)] タブをクリックします。

[クラウド マッピング (Cloud Mapping)] ビューには、VRF とそれが使用するクラウドリソースに関するすべての情報が表示されます。



- (注) [クラウドリソース (Cloud Resources)] >> [ドリフト (Drifts)] の順にクリックしてこのページに移動することも可能で、その後 [構成ドリフト (Configuration Drifts)] の表で適切な行をクリックします。サイドパネルにこの特定の構成ドリフトに関する情報がさらに表示されます。[詳細 (Details)] アイコン (🔍) をクリックすると、この特定のオブジェクト向けの適切な [クラウド マッピング (Cloud Mapping)] ページが自動で表示されます。詳細については、「[構成ドリフトのメインページにアクセスする \(2 ページ\)](#)」を参照してください。

画面は、[検出の概要 (Detection Summary)]、[関連オブジェクト (Related Objects)]、[構成ドリフト (Configuration Drifts)] および [提示されたクラウドリソース (Presented Cloud Resources)] の 4 つのセクションに分かれています。各セクションには、選択した VRF に関するそれぞれの情報をリストした表が含まれています。

- [検出の概要 (Detection Summary)] の表には、検出された構成ドリフトの数、構成された意図された実際のクラウドリソースの数、およびこの情報が最後に更新された時刻の概要が表示されます。在庫更新のタイムスタンプが古い場合は、この画面の右上隅にある [更新] アイコンをクリックして情報を更新できます。

- **[関連オブジェクト (Related Objects)]** エリアには、セキュリティグループ、CIDR、サブネットなど、VRF に関連するその他のオブジェクトが表示されます。
- **[構成ドリフト (Configuration Drifts)]** の表には、仮想ネットワーク、仮想ネットワークに関連付けられている CIDR、およびそれらの CIDR 内のサブネットに関するすべての問題が一覧表示されます。具体的には、展開することを意図していたが、実際のファブリック構成に欠落しているすべての仮想ネットワーク、CIDR およびサブネット。

いずれかのレベルで構成ドリフトがある場合、表にはそのレベルでの構成ドリフトが表示され、それより下のレベルでの構成ドリフトは表示されないことに注意してください。たとえば、構成ドリフトが CIDR レベルで発生し、その CIDR 内の対応するサブネットの場合、テーブルには CIDR エリアの構成ドリフトが表示されますが、その CIDR 内の対応するサブネットの構成ドリフトは表示されません。

この表には、次のエリアの詳細情報が含まれています。

- **仮想ネットワーク** : 論理 DN、リージョン、プライマリ CIDR、ドリフトタイプ、問題の説明、およびそれを解決するための推奨されるアクションに関する情報を提供します。
- **CIDR** : 論理 DN、リージョン、CIDR ブロック範囲、プライマリ CIDR かどうか、CIDR 内のサブネット、ドリフトタイプ、問題の説明、およびそれを解決するための推奨されるアクションに関する情報を提供します。
- **サブネット** : 論理 DN、リージョン、IP アドレス、ドリフトタイプ、問題の説明、およびそれを解決するための推奨されるアクションに関する情報を提供します。

構成ののばらつきごとに、[ステータス] フィールドに重大度と推奨されるアクションが示されます。

- **Transient (低)** : 最近の構成変更が原因である可能性が高いドリフト。ファブリックが安定するまで待つことをお勧めします。ばらつきは、次の構成の更新後に自然に解決する可能性があります。
 - **Presumed (中)** : 一時的である場合とそうでない場合があるドリフト。状態を監視し、ばらつきが続く場合は構成のトラブルシューティングを行うことをお勧めします。
 - **Raised (高)** : クリティカルなドリフト。Cloud Network controller の構成を確認し、関連する障害を確認することをお勧めします。構成を再展開すると、Cloud Network Controller とクラウドサービス間の通信の問題を解決できる場合があります。問題が解決しない場合は、テクニカルサポートログを確認してください。
- **[提示されたクラウドリソース (Presented Cloud Resources)]** の表には、クラウドで適切に構成されたすべてのリソースに関する情報が表示され、**[構成ドリフト (Configuration Drifts)]** の表 (仮想ネットワーク、CIDR、およびサブネット) に表示されるのと同じ階層に分割されます。このテーブルは、クラウド内の特定の VRF に関連付けられている仮想ネットワーク、CIDR、およびサブネットをより適切に可視化できるように設計されています。

構成のばらつきのトラブルシューティング

このセクションでは、構成のばらつきのあるプロセスが Cloud Network Controller で稼働していることを確認し、アプリケーションログを確認し、必要に応じてテクニカルサポート情報を生成するためのいくつかの便利なコマンドを提供します。

ステップ 1 root ユーザーとしてコンソール経由で Cisco Cloud Network Controller にログインします。

ステップ 2 構成のばらつきアプリケーションのステータスを確認します。

```
ACI-Cloud-Fabric-1# moquery -d pluginContr/plugin-Cisco_CApicDrift | egrep "dn |pluginSt |operSt |version"
dn: pluginContr/plugin-Cisco_CApicDrift
operSt: active
pluginSt: active
Verison: 5.1.0
```

ステップ 3 アプリケーション コンテナのステータスを確認します。

```
ACI-Cloud-Fabric-1# docker ps | grep drift
CONTAINER ID        IMAGE                                   COMMAND                                CREATED            STATUS
NAMES
649af6feb72c       a5ea08bbf541                          "/opt/bin/conit.bi..." 13 hours ago      Up 13
hours              drift-api-b703e569-0aa6-859f-c538-a5fecbc5708f
```

ステップ 4 すべての Docker コンテナによって消費されるメモリを確認します。

消費されるメモリの合計量は 12GB 未満である必要があります。

```
ACI-Cloud-Fabric-1# systemctl status ifc-scheduler_allocations.slice | grep Memory
```

ステップ 5 必要に応じて、テクニカルサポート ログを収集します。

ログは、コントローラの /data/techsupport ディレクトリに保存されます。

```
ACI-Cloud-Fabric-1# trigger techsupport controllers application CApicDrift
ACI-Cloud-Fabric-1# trigger techsupport controllers application CApicDrift vendorName Cisco
```

ステップ 6 アプリケーション ログを確認します。

構成のばらつきプロセスのログは、/data2/logs/Cisco_CApicDrift ディレクトリに保存されます。

runhist.log ファイルには、アプリケーションが開始されるたびに情報が記録されます。次に例を示します。

```
# cat runhist.log
1 - Thu Jun 11 23:55:59 UTC 2020
2 - Fri Jun 12 01:19:41 UTC 2020
```

drift.log ファイルはアプリケーション ログ ファイルであり、構成ドリフトが更新された回数と各更新にかかった時間を表示するために使用できます。

```
# cat drift.log | grep ITER
{"file": "online_snapshot.go:178", "func": "Wait", "level": "info", "msg": "ITER# 109
```

```
ENDED === RDFGEN TIME: 1m40.383751649s, MODEL UPLOAD TIME 5m54.245550374s;  
TOTAL     TIME:: 7m34.629447083s", "time": "2020-06-12T19:53:13Z"}
```

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。